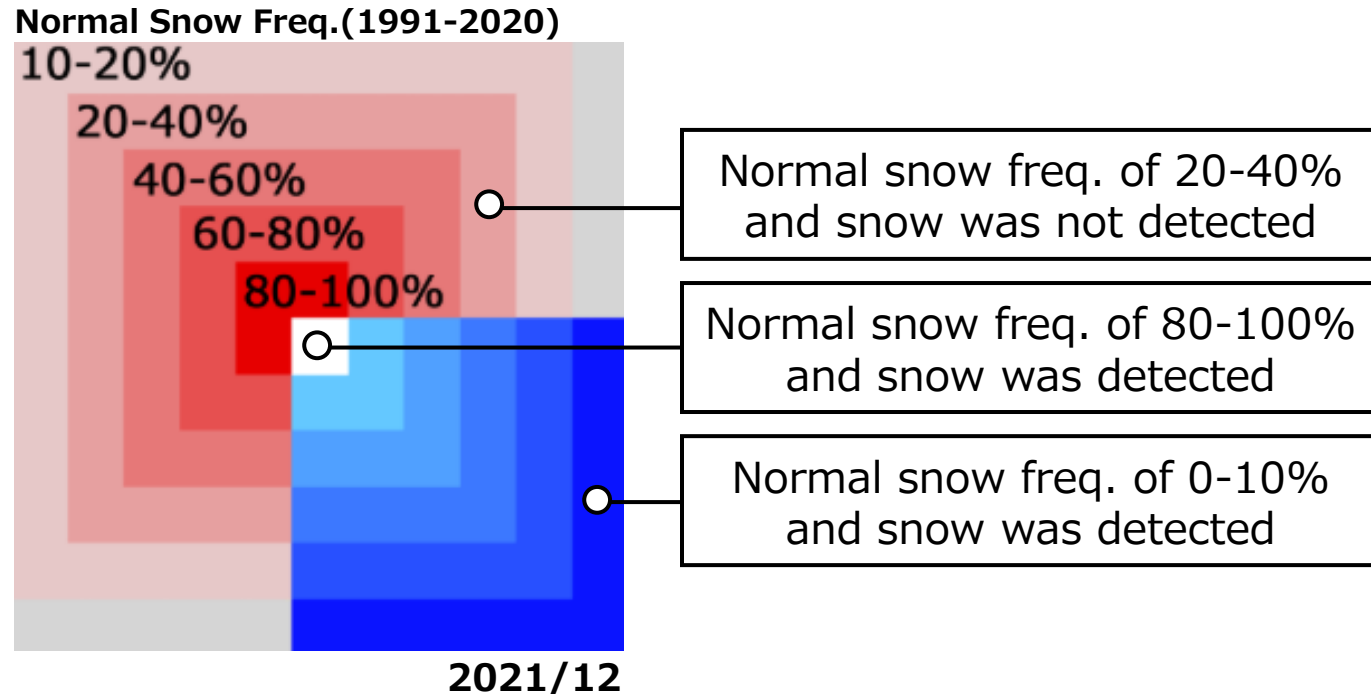


積雪分布プロダクトの偏差の凡例の見方について

- 積雪分布プロダクトの偏差画像は他のプロダクトと比較して特殊な表示の仕方をしています。
- 赤系統の分布にある％は1991-2020年の30年間の積雪頻度（％、○回／30回の割合）、つまり積雪頻度の気候値の空間分布を表しています。
- その上に青系統の色で、ある年（例、2021年12月）の積雪分布を重ねて表示しています。
- 青色の明るさの階調には過去の気候値の頻度の情報を持たせており、例えば、青色が薄くなる（白に近づく）ほど、もともと積雪頻度が高い場所にその年も雪が積もっていることを示しており、逆に青色が濃い場所は普段あまり雪が積もらない場所に積雪がある（正偏差的である）ことを意味します。
- 一方、赤色が濃い場所は、普段はよく雪が積もっている場所だが、観測では雪がない（負偏差的である）ことを意味しています。



積雪分布プロダクトの偏差の凡例の見方の例